

相互訪問の「対面交流」とインターネットを活用した「オンライン交流」の融合
ハイブリッド交流の実現

対面交流

上毛町とチュラ小の児童が互いにパディ(グループ)を組み、ホームステイや社会見学などにおいて一緒に行動することでより深い交流に繋がっています。

1 渡航研修(上毛町⇒チュラ小)

次代を担う子どもたちをタイ王国バンコク都へ派遣し、国際的な視野と物の見方・考え方に立った国際人の育成を図ります。

※コロナ禍の影響により令和2年度から4年度まで中止となっています。

- 対象 小学6年生
(ただしコロナ禍で渡航中止となった年度の児童、生徒も対象)
- 日程 5泊7日(例年8月中旬に実施)

〈交流の様子〉

学校訪問

チュラ小において、タイの授業(英語や美術等)を受けたりスポーツ等のレクリエーションをしたり、タイ児童と一緒に活動します。



ホームステイ

パディ(タイ児童)の家庭にホームステイし、一緒に食事やゲーム、ショッピングなどをして、親睦を深めます。



2 訪日事業(チュラ小⇒上毛町)

来日するチュラ小の児童を上毛町で受入れ、交流を通じて絆を深めます。

※コロナ禍の影響により令和2年度から3年度まで中止となっています。

- 対象 小学5年生(ただし交流内容等により変わります)
- 日程 7泊8日(例年9月下旬から10月上旬にかけて実施)

〈交流の様子〉

学校訪問

チュラ小の児童が、町内4小学校を順番に訪問し、習字、生花、昔あそび、スポーツなどを通じて交流します。



ホームステイ

パディ(町内5年生)の家庭にホームステイし、一緒に食事やゲーム、ショッピングなどをして、親睦を深めます。



記念植樹

両国の友好関係を記念して、大池公園の園路「カエデの小径」に、毎年カエデ(イロハモミジ)の植樹を行っています。



オンライン交流(自国に在りながらの交流)

ICT・デジタル技術を活用して、自国に在りながらの交流を実施しています。互いに「いつでもどこでも」繋がることができるため、遠く距離が離れていても気持ちが近くなり、連帯感に繋がります。また、互いの会議もオンラインでできるため、計画から実施までスピード感のある交流ができています。

1 オンライン授業 令和4年度初実施!!

お互いの教室を繋げて、両国の児童が同じ授業に参加する「オンライン授業」を令和4年度に初めて実施しました。

- 対象 小学5年生を対象に実施
※町内4小学校72人とチュラ小25人が参加
- 日程 令和4年11月24日(木)
- 内容 スポーツの授業
※上毛町の小学校は「ラジオ体操」、チュラ小はタイ国技「ムエタイ」をお互いに教え合いました。



▲オンライン画面



▲オンライン授業の様子(スポーツ)

2 灯籠づくりによる交流

両国の子どもたちがオリジナルの灯籠を作成し、一同に展示点灯することで「友好のあかり」を灯しています。



- 対象 上毛町内児童、チュラ小(小学5年生及び先生)
- 場所 大池公園、ゆいぎらら
- 日程 それぞれの灯籠祭の時期に合わせて実施

3 互いの国の文化等を伝える活動

毎年テーマを設定し、絵画やポスターなどデザイン作品の交流をはじめ、インターネットの情報共有サイト(SNS等)を活用した交流など、ICTを駆使することで自国に在りながらの互いの文化を紹介し合う交流を実施しています。

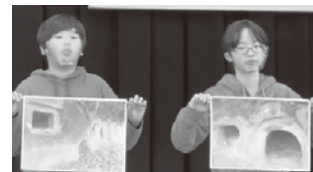
音楽交流「さくらの合同合唱」

両国の映像を1本の動画にしてYouTube投稿をしました。



文化交流「両国の食や遺跡などを紹介」

文化(史跡、食、スポーツなど)を紹介する映像を相互に送り合い、お互いの国の文化を学んでいます。



▲上毛町の史跡を紹介



▲タイの文化を紹介

Wings of Friendship-Bangkok THAILAND X KOGE

国際交流事業
バンコク
友好の翼

姉妹校提携更新
～より強い絆づくりへ～

上毛町とチュラローンコーン大学附属小学校(以下「チュラ小」という。)との交流は平成27年度からスタートしました。今年度、平成29年8月に締結した姉妹校提携の5年間の期限を迎えるにあたり、新たに5年間の期限とする姉妹校提携の更新を行いました。

令和2年から続くコロナ禍の影響により、対面による交流活動が制限される中においても、互いに「コロナに負けない」「友好関係がより強い絆で結ばれていくように」という目標に向かって共に歩み続けています。

姉妹校提携の目標

- タイと日本、お互いの相互理解と関係をより深めます。
- 児童、教師及び事業に関わるメンバーが、タイと日本の関係を深めるための機会を提供します。
- 文化的意識を深め、お互いの文化を尊重します。
- 国際的な視野を広げます。
- 多様な世界観や思想にうまく対応でき、グローバルに活躍することができる人物になるよう児童を育成します。

姉妹校としての取り組み

- 姉妹校プログラムは、双方の学校の児童、教師や教育にたずさわる人々が異なる文化を直接体験し、学ぶ機会を与えます。
- 通信環境を使って工芸、音楽、絵画など交流をしていきます。



▲写真左からスリン名誉教授、坪根町長、シリデーチ教育学部長、パッチャリー校長

調印式

期 日	令和4年8月23日(火)
会 場	チュラ小 会議室(タイ バンコク市内)
提携期間	令和4年8月23日から5年間

調印式でのコメント(抜粋)

●上毛町
(坪根町長)

令和2年からの3年間は、直接的な交流ができませんでしたが、たとえコロナ禍であっても友好の絆が途切れることはありません。この間、情報技術を活用したオンライン交流を進めてまいりましたが、オンラインでの交流はスピード感があっていつでもどこでもできることが強みであり重要です。直接交流の強みは内容が深く思いがより心に届くことです。それぞれの強みを融合させたハイブリッドの交流により、より実りある事業に発展していくだろうと確信しています。



●チュラ小
(パッチャリー校長※当時)

心構えさえあれば、どんな困難にも制限されません。学びの機会を作れると信じています。国として、日本とタイとの関係は長く結ばれており友好親善関係が築かれてきました。この度、姉妹校提携を延長するということは、両国の絆がさらに強固なものになるという深い意義があり、チュラ小にとって大変光栄なことです。これからも音楽や美術など、多くの分野で交流学習事業を展開することやICTを活用した遠隔合同授業を行うことなど、様々な取り組みを計画していきます。

